

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2025 年 2 月 24 日
入試種別	: 大学院 (博士後期課程) 入学試験問題
学部・研究科	: 文学研究科 全専攻共通
科目名	: 第 1 群 英語

【解答又は解答例】

1

(1) (解答のポイント)

‘this’が指すものは、前半の ‘Wars caused by religious disagreements created a search for new solutions’で、それが理解でき、日本語で説明できるかを測る。

(2)

②自分の考えが合理的で正しく、それゆえ他人が信じるに値すると考える人は、理性に従い、客観的な基準に基づいて判断されることに力を注ぐ。

③啓蒙思想家たちは、誤りを克服するためには、我々の思考の背後に存在する理不尽な確信や思い込みを理解しようと努めるべきだ、と主張した。

(3) (解答のポイント)

第三段落では、理性を重視する啓蒙思想家たちが神をどのように捉えているかが説明されている。思想家たちと神の信仰との関係性について理解でき、その内容を日本語で要約できるかが採点のポイント。

2 (解答と採点のポイント)

スマートフォンやインターネットが青少年に悪影響をもたらす事実を説明し、それらを使用することで起こる問題を指摘した文章。現状とそれがもたらす問題点を本文に即して日本語で要約できているか、誤字脱字等の日本語の文章表現も採点のポイント。

3

(採点のポイント)

基本的な文法事項を用い、問いに対し自分の考えを表現する英語運用能力を評価する。